

症状観察用語集

..... (Terminology for cage-side observation in animals)

Code	局 所 的 症 状	解 説			
T	排泄	Excretion			
T 01	尿失禁	Incontinence of urine -- 排尿の随意制御の欠如を指す。尿漏ともいう。 Urorrhea 膀胱が充満していないで起こる場合を真性、膀胱 Involuntary urination が充満して起こる場合を偽性という。膀胱括約筋 の機能障害が最大の原因である。 ウサギ、イヌ、ネコ 程度			
T 02	頻尿	Pollakiuria ----- 排尿回数の増加したもので瀕回排尿ともいう。 Thamuria . 尿量増加による神経性、膀胱周囲臓器の影響、尿 Sychnuria 路の炎症、膀胱壁の伸展性衰弱、膀胱内異物等の 原因がある。無処置動物に比べて排尿回数が多い 場合をいう。 マウス、ラット、ウサギ、イヌ、ネコ 程度			
T 03	多尿 尿量増加	Polyuria ----- 排泄回数も多く、かつ尿排泄量の多い状態で床 Increase in urinary 敷を使用している場合はその濡れ具合で判断でき volume る。飲水量の増加、糸球体濾過率の増加、尿濃縮 能の低下、腎上皮の分泌作用の亢進、腎血管の収 縮による血圧上昇、高浸透圧利尿等で見られる。 尿崩症、糖尿病の際にも見られる。 マウス、ラット、ウサギ、イヌ、ネコ 程度			
T 04	乏尿 尿量減少	Oliguria ----- 尿排泄量の減少している状態で、床敷を使用し Oliguresis ている場合は濡れ具合で判断できる場合もある。 Uropenia 糸球体濾過率の低下、腎血流量の減少、尿細管再 Decrease in urinary 吸収の亢進等で生じる。原因として摂取水分の減 volume 少、下痢、嘔吐や発汗等による過剰水分の損失、 腹膜炎で滲出液の貯留する時期、腎あるいは心機 能障害等がある。 マウス、ラット、ウサギ、イヌ、ネコ 程度			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; vertical-align: top;">尿閉</td> <td style="width: 30%; vertical-align: top;">Retention of urine ----- Ischuria</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;">尿が膀胱に充満しているにもかかわらず、排 尿し得ない状態で、膀胱頸部から外尿道口まで のいずれかに生じた内腔の閉塞によって起こる 症状である。尿道狭窄、尿道異物（結石、出血 時の血餅）、尿道腫瘍及び外傷性尿道破裂のよ うな尿道疾患、および前立腺肥大等の場合に起 こりやすい。また尿道に通過障害がなくとも膀 胱弛緩症の末期には尿閉を来す。</td> </tr> </table>			尿閉	Retention of urine ----- Ischuria	尿が膀胱に充満しているにもかかわらず、排 尿し得ない状態で、膀胱頸部から外尿道口まで のいずれかに生じた内腔の閉塞によって起こる 症状である。尿道狭窄、尿道異物（結石、出血 時の血餅）、尿道腫瘍及び外傷性尿道破裂のよ うな尿道疾患、および前立腺肥大等の場合に起 こりやすい。また尿道に通過障害がなくとも膀 胱弛緩症の末期には尿閉を来す。
尿閉	Retention of urine ----- Ischuria	尿が膀胱に充満しているにもかかわらず、排 尿し得ない状態で、膀胱頸部から外尿道口まで のいずれかに生じた内腔の閉塞によって起こる 症状である。尿道狭窄、尿道異物（結石、出血 時の血餅）、尿道腫瘍及び外傷性尿道破裂のよ うな尿道疾患、および前立腺肥大等の場合に起 こりやすい。また尿道に通過障害がなくとも膀 胱弛緩症の末期には尿閉を来す。			
T 05	無尿	Anuria ----- 排尿が全く認められない状態。定義では無尿は 腎で尿の生成されないことをいい、腎血流量の著 明な減少、高度の尿細管障害によって起こる。尿 は生成されるが、尿路通過障害によって起こる尿 閉とは区別される。 マウス、ラット、ウサギ、イヌ、ネコ			

Code	局 所 的 症 状	解 説
T 06	血尿 Hematuria Murrain Erythrocyturia	異常に多数の赤血球が混入している尿で、膀胱、糸球体あるいは尿細管障害の際の赤血球の漏出による。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
T 07	赤色尿 Reddish urine	赤色の尿で赤血球あるいは血色素のないことを確認する。被験物質による赤色着色の場合もある。Phenolsulfonphthalein と Bromosulphalein 排泄試験の残尿を除く。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
T 08	血色素尿 ヘモグロ ビン尿 Hemoglobinuria	何等かの原因で大量の赤血球が崩壊して遊離した血色素が、肝臓、脾臓中に収容しきれぬため尿中に排泄されたもの。尿は赤褐色ないし暗褐色を呈し、多量の蛋白質を含むが赤血球はない。ただ血色素の沈澱が顆粒状、塊状、または円柱状に存在する。水のような低張液を静脈内投与すると血管内溶血のため血色素尿がみられるが、これは腎疾患ではない。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
T 09	緑色尿 Glaucosuria Indicanuria	インジカン(トリプトファンの腸管内分解物)のために緑色の色調を帯びた尿。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
T 10	着色尿 Chromaturia	尿中に異常な色素が排泄されて生じる。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 色調
T 11	膿尿 Pyuria Pus urine	膿の混入した尿。膿は膿漿および膿球からなり、膿漿は滲出した血漿性の体液成分で、抗体あるいは蛋白分解酵素を含み、膿球は細胞成分で、主に白血球およびそれらの変性したものである。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
T 12	濃縮尿 Oligohydruria	濃度の異常に高い尿、すなわち高比重尿であって、熱性病、腎炎等の時は尿量は減少し比重が高くなる。糖尿病の場合には尿量も多くなり比重も高くなる。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
T 13	混濁尿 Chylous urine Cloudy urine	尿が白っぽく混濁している。白濁尿(white turbid urine)ともいう。ウサギでは正常である。ウサギの尿には結晶性の成分として、triple phosphate, calcium carbonateを含有する。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
T 14	大便失禁 Incontinentia alvi Incontinence of feces Scoracrisis Involuntary defecation	大便の排泄抑制が出来ない状態。脊髄疾患による直腸粘膜の知覚脱失、肛門反射障害、括約筋の損傷などの原因によって起こる。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度
T 15	脱糞 Defecation	処置後にみられる排便行動で頻回に及ぶ場合をいう。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル

Code	局 所 的 症 状	解 説
T 28	無便 糞なし No-feces	トレーなどに長時間糞の見られない状態。原因として、消化器の障害、ストレス、食欲廃絶、糞食などある。 マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル
T 29	ゼリー状便 Jelly like stool	ゼリー状の柔らかい便。腸の乳びが胆汁色素を混入しないで排便されたもの。ゼラチンカプセルが分解されずに排泄される場合にゼリー状便に酷似することがある。 マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル 程度
T 30	薬物混入便 Compound-colored feces	被験物質が原因で着色した便。排便後時間の経過に伴って変色する場合、あるいは散布した消毒液と被験物質が反応して発色することもある。 マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル 程度
T 31	異臭 Odor Smell Stink Stench	肛門腺から分泌する不快な臭い。たとえば、イヌおよびフェレットでは興奮あるいは驚愕の際に、ウサギ（陰部の両側の鼠径腺inguinal glands）では繁殖期に、異臭を発散する。 マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル 程度